

## 銀座街づくり会議

http://www.ginza-machidukuri.jp

〒104-0061 中央区 銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

\*メール配信をご希望の方はお知らせください\*このNewsLetterは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています\*本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます\*

## 三原橋再整備 動き出す 東京都に対し地下空間の有効活用を要望

晴海通りの、銀座通りと昭和通りの間には「三原橋」があります(図1破線内)。名前の通り、かつては晴海通りを横断するように橋の下を川が流れていました。戦後、橋はそのままに、川の埋め立てが行われました。地元で

は、橋の耐震上の危険性や、交通の安全上の問題から、以前から再整備を強く望んでいました。このたび、2020年東京オリンピック・パラリンピックの前に、再整備を完了させることになりました。

三原橋再整備は、長年の懸案事項でした。晴海通りは、銀座通りから昭和通りまでの間に信号がなく、ほぼ直線道路です。三原橋があることによって傾斜ができ、直線道路の見通しが悪い等、安全上の問題がありました。さらに戦前のまま残る橋の躯体には、耐震上の危険性もありました。このたび行われる具体的な整備内容は以下の通りです。

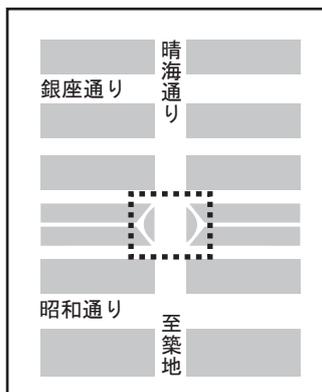


図1 破線内が三原橋

- ①太鼓状の橋を撤去し、晴海通りを平らにする。
- ②地下街空間はコンクリートで埋め、空間をなくす。
- ③銀座駅⇄東銀座駅間の地下歩道の階段・2本のうち1本をスロープにし、バリアフリー化を行う。

橋の撤去による晴海通りの見通し改善と、地下歩道のバリアフリー化によって、地上と地下における歩行者の安全性と利便性がはかられることになり、大いに期待しています。一方で、従来あった地下街空間を埋めてしまう計画に対しては、「残すことはできないのか」「非常に残念だ」と、驚きと反対の声があがっています。

銀座4丁目交差点から三原橋交差点までは信号がなく、この地下街空間が晴海通りを横断するための便利な生活通路として長年活用されてきました。

また銀座では、東京都が計画されているBRT構想を含む将来の交通ランドデザイン案を描く中で、

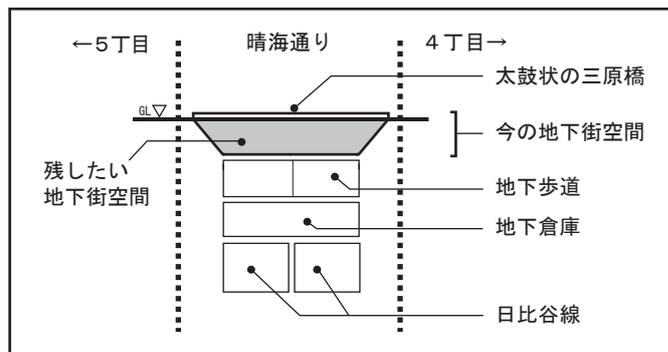


図2 三原橋 晴海通り縦断面図

三原橋跡地および地下街空間の活用について、昨年8月に東京都都市整備局に要望書を提出しました。晴海通り地上のまるく膨らんだ部分をBRT等の公共交通機関の駅とし、地下街空間は従来のイメージを一新して、おしゃれな待ち合わせ空間や観光案内所等、街を活性化するための空間として活用してはどうかと考えています。すでに存在している資源をなくしてしまうことは非常にもったいないことです。

また、東京都建設局の倉庫として使われている地下倉庫は、たとえば駐輪場や災害備蓄倉庫、荷捌き場、ごみ置き場等、街の課題を解決するためのインフラとして活用していくことも検討してはどうかと考えています。

銀座街づくり会議では、銀座の貴重な空間の有効活用を検討していただくべく、東京都建設局および東京都第一建設事務所に2016年6月17日付で要望書を提出しました。東京都からは、物理的に不可能とは思いますが、図面で精査を行うという回答を得ています。今後も地元の考えをご理解いただき、検討していただけるよう働きかけていきます。